

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E142E008		国文学史 (History of Japanese Classical Literature)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
選択	2	3	教育学部	前期	月4	日本語			単独						
担当教員	氏名 安道 百合子 E-mail y-andou@oita-u.ac.jp 内線 7535														
授業の概要	テキストを利用して、日本文学の史の変遷を概観する。具体的な影響関係のある作品を読み比べて時代の特徴の違い、文体の違いなどを考察する。中古・中世/近世については、レジュメ作成・発表の演習を課す。また、グループで「文学史かるた」を構想し、作成する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 日本古典文学の史的理解する。															
目標2 具体的な影響関係のある作品を読み比べて、時代の特徴の違いや文体の違いを説明できる。															
目標3 文学作品の特徴を紹介するレジュメを作成して発表する。															
目標4 「文学史かるた」を構想し、作成する。															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									5	2	2	1			
授業の内容															
1 歴史の時代区分と文学の時代区分															
2 文体の違い・ジャンル・影響															
3 上代文学概要。教材としての『万葉集』。神話と『古事記』															
4 中古文学概論(1) 和歌史															
5 中古文学概論(2) 日記と随筆															
6 中古文学概論(3) 物語															
7 中古・中世文学作品に関する演習(1) 日記・歌物語															
8 中古・中世文学作品に関する演習(2) 物語・随筆															
9 中古・中世文学作品に関する演習(3) 説話・軍記															
10 『徒然草』読解															
11 近世文学作品に関する演習、スライド発表(1) 近世前期															
12 近世文学作品に関する演習、スライド発表(2) 近世後期															
13 「文学史かるた」の構想															
14 「文学史かるた」の作成															
15 「文学史かるた」の成果発表															
ラーニング グループ	A:知識の定着・確認		作品を紹介するレジュメとスライドを作成発表する、個人での演習課題を課す。				工 夫 そ の 他 の	Moodleの活用。							
	B:意見の表現・交換		学校教材として活用できる「文学史かるた」を構想して作成する、グループでの演習課題を課す。												
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		個人演習の準備をする。作品を通読して紹介する本文を選び、関連書籍を読み、文学史的位置づけを考察して、レジュメを作成する(15h)。グループで相談しながら、かるた作成をする(15h)。												
	事後学修		授業内で扱った題材に関連する書籍を読んで、興味関心を広げる(15h)。												
	想定時間合計		45												
教科書		『原色 新日本文学史 増補版』(秋山虔・三好行雄編著、文英堂、2016、ISBN9784578271925)													
参考書		『あなたに語る日本文学史 新装版』(大岡信、新書館、1998、ISBN978440321052) 『資料と解説日本文章表現史』(秋本守英編、和泉書院、2006、ISBN9784757603318) ほか適宜紹介する。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業中の発言や小レポート	10%										
	文学史確認テスト	10%										
	演習発表	50%										
	かるた作成の演習	30%										
注意事項	広く古典文学作品に興味を持ちおもしろさを見つけてほしい。											
備考	古語辞典必携。 R2年度以降入学生については、3年次前期開講予定です。											
リンク												
	URL											